

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和5年度)

調査表

施設名	県立聴覚障害者センター
指定管理者	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

(単位:人)

指標	R5	R4	R3	増減理由等
研修室	1,302	1,269	818	新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたこととともない全体的に利用者が増加。特に、交流ホールにおける大人数での研修会が増えている。
試写室	705	640	395	
交流ホール	2,966	2,294	778	
談話コーナー	150	129	108	
合計	5,123	4,332	2,099	
コメント				

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R5	R4	R3	支出	R5	R4	R3
指定管理料	26,391	26,391	26,391	人件費	23,603	23,548	23,438
受取利息収入	0	0	0	備品・消耗品費	430	99	684
				水道光熱費	1,064	1,511	1,000
				研修研究費	160	133	72
				修繕費	0	50	139
				保険料	10	10	12
				その他	1,124	1,040	1,046
合計(①)	26,391	26,391	26,391	合計(②)	26,391	26,391	26,391
収支差額(①-②)	0	0	0				
コメント							

3 管理運営状況

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、定期清掃(月末)、特別清掃(年末)、床洗浄塗布(外部委託による 年2回)
	保守・点検	県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに、①建物・備品等、②消防設備、③電気設備、④整理整頓・衛生維持の点検を毎月末に行った。
	警備	3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修繕	備品・設備点検を随時実施
	備品等管理	備品台帳に基づく点検(年1回) 管理台帳整備
	安全対策	・センター利用者に対する賠償責任保険の加入 ・安全点検管理表による点検(月末)、危機管理規程の整備、電光掲示板を利用した避難訓練
	その他	こまめな消灯・節電・節水等の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	①みやざき聴障センターだよりの発行 ②センターHPIに研修会等の案内を随時掲載 ③満足度調査を2回実施(R5.12.12～R6.1.31、R6.2.22～3.25)
	イベント等ソフト面充実	第20回手話フェスティバル(7/23)、難聴者交流会(月/1～2回)、映画「終わりなき声」上映、手話言語の国際デー(9/23)ライトアップ、手話出前講座、センター年末交流会(12/24)
	施設設備等ハード面充実	特に無し
	その他	・高校生2名(本庄高校)が手話パフォーマンス甲子園に出場するための支援 ・第71回全九州ろうあ者大会・第50回手話通訳者研修会(宮崎大会)の実施 9/15～17
管理運営体制	新型コロナ感染拡大防止策として、パーテーション設置や検温、ドア・机等の消毒を実施	
コメント	基本協定書の内容に基づき、適切な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	令和5年利用者満足度アンケート(R5.12.12～R6.1.31 64名)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
手話やろう者が出演している映画や劇の上映会をしてほしい。	R6.5.19宮崎県立看護大学大学祭で、映画「おわりなき声」の上映会、トークショー、手話体験会を実施。
健聴者とろう者の交流の機会を多くして欲しい。	R6.7.21宮崎公立大学で「手話サマーフェスティバル」を開催し、聴覚障がい者、中途失聴者、盲ろう者との交流の場を設けます。

5 総合評価

評価コメント	基本協定書に沿って適正な業務が行われている。
--------	------------------------

今後の課題と対応

利用者のニーズを的確に把握するとともに、聴覚障害者センターのサービス内容を幅広く周知し利用者の増加に繋げることが必要になる。令和5年度は、一時期時間外手当が前年比3倍となる状況があった。後半は落ち着いたものの、今後も業務効率化に努めていく必要がある。